

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク		
事業名	県内NPOの基盤強化と市民活動サポート事業		
助成事業区分	協働助成事業（一般型）【重点課題：県内NPOの活動基盤の充実・強化に資する中間支援の機能強化】		
団体の 所在市町村	寒河江市	事業費	1,179,664 円
		うち助成金額	1,000,000 円



**【事業目的】**

昨年度の事業の結果、①NPOの運営で分からない事を聞きたいがどこに相談していいか分からない、②若者(主に高校生)は社会のために何かをしたいと思っている人が意外に多い、③NPOを運営している人達の熱量を改めて感じる事ができた、の3点が印象として深く残った。また、中間支援と現場のNPOのつながりは、比較的浸透してきたものの、まだ薄いと感じている。これらを踏まえ、県内NPOと中間支援とのつながりを強化するには、もう少し現場と中間支援との接点を作る必要があると考え、本事業を計画した。県内のNPOのスキルアップや基盤強化、活動の活性化を図る事で、県内地域の発展に寄与するものとする。

**【実施内容】**

**【市民活動サポート活動】**

- ①若者向けボランティア養成講座  
県内2カ所で開催予定だったが新型コロナの関係でリモートで1回の開催とした。2月13日実施。  
高校生を対象にボランティアとはどういうものかを解説。また、高校生が思う社会貢献について語ってもらった。  
・講師：当団体代表理事早坂信一  
・参加者：高校生4名、酒田市ボランティア公益活動センタースタッフ2名
- ②NPO紹介冊子発行  
県内のNPO法人6団体の活動を紹介、1,500部を発行

11月上旬制作開始、2月上旬校了、2月28日まで発送完了

**【NPO団体基盤強化活動】**

- ①NPO運営基礎講座「NPO運営のコツ 経営に使える様々な資源とは？」  
1/22米沢市、1/23酒田市で開催、参加者米沢3団体4名酒田4団体4名  
講師：NPO法人花巻市民活動支援センター代表理事 葛巻徹 氏  
資金の集め方など、過去の事例を紹介頂き、わかりやすく解説して頂いた。
- ②助成金紹介講座「県内の助成金の紹介」  
12/13酒田市、12/14米沢市、12/17新庄市、12/21山形市で実施。助成金を出す側と受ける側の接点作りを兼ね、どのような趣旨の助成金なのかを紹介。  
・参加助成事業者：5団体  
・参加者：酒田15団体17名、米沢10団体11名、新庄7団体12名、山形6団体10名
- ③助成金獲得講座「受かる申請書、落ちる申請書」  
1/12山形市、1/3米沢市、1/14鶴岡市で実施  
助成金を出す側の視点に立って、どのような申請書にすれば良いのかを解説。  
・講師：庄内銀行経営管理部広報CSR室 早坂早紀氏  
当団体早坂信一

・参加者：山形3団体4名、米沢6団体8名、鶴岡2団体3名

- ④オンラインNPO相談 常時開設  
ZOOM、電話、来所で相談業務を随時実施 相談者4団体10回
- ⑤NPO個別相談会「NPOなんでも相談会」 県内5カ所で10回実施。  
・参加者：11/18新庄市2団体2名、11/25米沢市2団体3名、11/26山形市1団体1名、2/14米沢市3団体3名、2/17東根市2団体3名、2/21酒田市5団体5名、2/22鶴岡市2団体2名、1/17酒田、1/19天童、2/18新庄は参加者なし

今年度は法律が絡む専門的な内容の相談が増えた事が印象的であった。最も成果が大きい活動と言えた。

**【事業の成果】**

NPO法人を紹介する冊子は昨年引き続き制作する事ができたが、内容はやや減ったが継続できたことは成果と言える。各講座はコロナ禍にもかかわらず対面での実施に多数の参加があり、ニーズの高さを改めて実感した。個別相談についても同様で、しかも専門的な内容の相談が増え、いよいよ中間支援としてのスキルアップも必要と感じさせられた。一方若者向けのボランティア育成講座では、若者の想いを形につなげる事ができず、課題を残す事となった。引き続き同活動を推進して行く。